

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3階302号

Tel (072) 223-2300 番 Fax (072) 223-5005 番

URL : <https://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 南海グリル 天兆閣別館 4階「ローズ」 Tel:(072)222-0131 番 (代表)

ガバナー(第2640地区) : 中野 均

ガバナー事務所 URL : <http://rid2640g.com/nakano/>

E-mail : [nakano@rid2640g.com](mailto:nakano@rid2640g.com)

会長: 木畑 清 幹事: 中田 学 広報委員長: 米澤邦明 編集者: 中川 澄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

## 本日の例会

2019年11月22日(金)第1862回

「テーブル会議」

- ・「堺9RC新春合同例会について(ホスト)」
- ・「40周年記念行事について」
- ・「第10回子ども囲碁フェスタ・堺  
開催時期について」

今週の歌 「日も風も星も」

「紅葉」

お客様紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

今週の歌「紅葉」

秋の夕日に照る山もみじ

濃いも薄いも数ある中に

松をいろどる 楓<sup>かえて</sup>や鶯<sup>つた</sup>は

山の心もとの裾<sup>すそ</sup>模様<sup>もよう</sup>

## 前回の例会

2019年11月15日(金)第1861回

卓話 「麦酒粹虎伝: 堺 鳥井駒吉」

卓話者 アサヒグループホールディングス(株)

顧問 白石 行洋 様

紹介者 三上 尚嘉 会員

今週の歌 「四つのテスト」

「堺北RCの歌」

「ドレミの歌」

お客様紹介・出席報告・

会長の時間・委員会報告・

幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(11月度)

池田茂雄会員(第37回)

<11月15日(金)の出席報告>

会員数 30名

出席会員 19名

欠席会員 11名

ゲスト 2名

ビジター 1名

10月27日(日)の出席率 93.33%

## 次回の例会

2019年12月6日(金)第1863回

卓話 「未定」

卓話者 宇瀬 治夫 会員

\*11月29日(金)は休会です。

お間違いなきようお願いいたします。



2019-20年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」

国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー (米国・ディケーターRC)

## 卓 話

「麦酒粹虎伝：堺 鳥井駒吉」

アサヒグループホールディングス(株)

アサヒプロマネジメント資料室

顧問 白石 行洋 様

紹介者：三上 尚嘉 会員



### ◆第一章 大阪麦酒の始動

大阪麦酒の中心的な創業者である鳥井駒吉は、嘉永6年(1853年)、和泉屋伊助、お栄の次男として誕生した。実質的に長男として育てられた駒吉は、酒造業を営む父が廻船問屋の事業に失敗し、失意のうちに亡くなったことを受け、17歳で家業を引き継いだ。母、お栄の指導の下で父が残した負債の清算に奔走、見事に事業を立て直すのである。

青年実業家として脚光を浴び始めた駒吉は、大阪～堺間の阪堺鉄道計画を推進していた関係で、関西の渋沢栄一と呼ばれた外山修造、松本重太郎などの関西で気鋭の事業家たちと交流を持つこととなり、彼らとビール事業創業への計画を立てることとなった。盟友である堺の酒造家宅徳平、灘の酒造家石寄喜兵衛を加え、駒吉、外山、宅、石寄の四名が創業委員、松本が相談役となって明治20年(1887年)に大阪麦酒の設立を發起、資本金20万円での設立が官許された。

模造ビールが横行していた時代、駒吉は“日本人に愛されるビールは日本人の手で造る”の信念のもと、化学者生田秀を発掘し、ビール醸造のノウハウを取得させるべく本場ドイツに派遣したのである。

### ◆第二章 嵐の中の船出

明治21年(1888年)頃より不況に喘いでいた日本経済は明治22年(1889年)、後に日本資本主義初といわれる「大恐慌」に陥った。15人いた発起人は櫛の歯が抜けるように脱落していき、大阪麦酒の設立は極めて困難な状況となった。鳥井駒吉は本格的なビール醸造に必要な設備などの態勢を整えるために、最低限の資本金として15万円を定め、広く投資を募るのではなく、発起人がその責任で事業を運営していく発起人諸氏持寄

合本会社として明治22年、大阪麦酒会社の設立に漕ぎつけた。信念と開拓者精神に揺るぎのない駒吉は「本会社は当分利益を問うところにあらず、むしろ諸氏は年々この会社に応分の補助金を支出する見込にて…」と、報道関係者に胸を張ったという。

会社設立から3年後の明治25年(1892年)5月、中井芳瀧の手によるラベルを施した「アサヒビール」と命名された日本人による初の本格的ビールが、大阪麦酒の「吹田村醸造所」から世に送り出されるのである。

### ◆第三章 本物のビール文化を広めるために

鳥井駒吉は革新的な商才を発揮し、「アサヒビール」は順調に売り上げを拡大した。明治30年代に入ると、日本のビール市場は大阪麦酒、日本麦酒、ジャパン・ブルワリー、札幌麦酒の4社が凌ぎを削り、競争は激化していく。大阪麦酒は売上の拡大に対応するため、増資や社債の発行で資金を調達して吹田村醸造所の設備拡張を図っていたのである。

日本のビール市場の競争激化の中で、次第に国内での消耗戦を避け、ビール会社が大同団結する気運が芽生えてきた。日本麦酒の馬越恭平社長は、札幌麦酒の渋沢栄一会長と相談し、大阪麦酒を含めての三社で合同を目指すこととし、三社トップによる話し合いに入っていくのである。

この話し合いで、増資や社債発行で設備投資を続けていた大阪麦酒の経営姿勢を、大きな投資を回避して利益確保で運営していた日本麦酒の馬越恭平社長が否定的な発言をするようになったため、駒吉と馬越との間で感情的な対立が表面化することとなる。これにより一時は合同が極めて難しい状況に陥ってしまう。しかしこの対立を、時の農商務大臣の清浦奎吾、財界の重鎮であった渋沢栄一などが懸命に説得にあたり、最終的に駒吉の賛同を得るに至ったのである。常に本物志向、本格志向で前向きで積極的な経営姿勢を貫いてきた駒吉は、その理念が継承されることを前提に、最終的に合同に賛同したものである。

しかしこの時点で、駒吉は病に倒れてしまう。合同交渉と三社合同後のことを生田秀に託し、自らは第一線から身を引いて養生に入っていく。

鳥井駒吉の残したビール事業への思いは、三社

が合同した大日本麦酒、大日本麦酒から戦後改めて独立した朝日麦酒へと引き継がれ、現在に至るのである。駒吉の座右の銘“信、為萬事本”には、日本人に愛されるビールは日本人の手で造る、という強い本物志向への信念が込められているのである。

## 会長の時間

会長 木畑 清



先日、大嘗祭の「大饗の儀」が終り、すべての行事が終了しました。新聞のコラムに載っていた記事を書いておきます。

「毎年11月、宮中では（新嘗祭）<sup>にいなめさい</sup>が行われる。天皇が新穀を神々に供え、自らも口にし、（五穀豊穡）と国家安寧を祈る重要祭祀だ。

特に即位後初めて行うものが（大嘗祭）で一世一度の儀式とされる。その起源はどこまで遡れるだろう。日本最古の歴史書「古事記」と「日本書紀」<sup>あまてらすおおみかみ</sup>には、皇祖神の天照大神や古代の天皇が「新嘗の祭」を行ったとする記述がある。宮内庁は大嘗祭を「新嘗の祭」に由来すると説明。これらの歴史書が編纂された奈良時代より前から伝承されてきた収穫儀礼に根差した儀式としている。

7世紀半ばまで毎年行われる。新嘗祭と大嘗祭との区別はなかったが、7世紀後半の第40代天武天皇、第41代持統天皇のときに区別されるようになったという。以後、大嘗祭は重要な即位儀礼として歴代天皇に継承されてきた。

ところが、室町時代に天気を迎える。戦乱や朝廷の困窮などを理由に、1466年の第103代後土御門天皇<sup>つちみかど</sup>を最後に大嘗祭は、221年間中断した。再興したのは江戸時代、第5代将軍徳川綱吉<sup>れいげん</sup>のとき。当時在位していた第11代霊元天皇は譲位を申し出て、後を継ぐ東山天皇の即位に際し、大嘗祭の復興を幕府に強く望んだ。

当時の幕府は国内統治に礼儀を重視しており、1687年、東山天皇の大嘗祭の挙行を認めた。続く中御門天皇<sup>なかもみかど</sup>の即位の際には行われなかったが、その次の桜町天皇から現在まで続いている。

「平成の時代を振り返って No.9」

平成8年

- 1月 村山首相辞意表明  
橋本龍太郎内閣発足
- 4月 普天間飛行場全面返還で日米合意、日米安保共同宣言
- 7月 堺市で病原性大腸菌O157による集団食中毒発生
- 8月 大阪地検、薬害エイズ事件でミドリ十字を強制捜査
- 10月 初の小選挙区比例代表並立制での総選挙  
国外
- 3月 中国人民解放軍、台湾近海でミサイル演習
- 6月 中国地下核実験
- 7月 第26回五輪アトランタ大会開催  
日本は合計14個のメダルを獲得
- 11月 クリントン米大統領が再選
- 12月 ペルーの日本大使公邸人質事件。約600人を監禁  
(主な物故者) 岡本太郎、横山やすし、宇野千代、司馬遼太郎、金丸信、渥美清

## 委員会報告

### 社会奉仕委員会

「" ダメ・ゼットイ " 募金の報告」

社会奉仕委員長 池永 隆昭



11月度の「ダメ・ゼットイ」募金を行いました。募金金額は、4,455円でした。皆様のご協力に感謝いたします。

「台風19号災害“義捐金送金のご報告”

社会奉仕委員長 池永 隆昭

10月12日から東日本各地の広い範囲に甚大な被害をもたらした台風19号について、地区ガバナ―事務所より、被災地区・被災住民皆様へ支援依頼がありました。当クラブでは11月定例理事会において基金より20万円と、例会時に回収しました募金箱7,154円を併せ、207,154円を送金いたしましたことご報告いたします。皆様のご協力に感謝いたします。



## 親睦活動委員会

### 「忘年家族例会のご案内」

親睦活動委員長 辰 正博



標記の件、下記のとおりご案内申し上げますので、皆様ご家族お誘いあわせの上、たくさんのご参加をお待ちしております。

#### 記



開催日時 12月21日(土)  
場 所 大阪マリオット都ホテル 20階「茜」  
受付 17:00～  
開 会 17:30～  
会 費 会員及びファミリー会員 12,000円  
ご家族 10,000円 中学生 8,000円  
小学生以下は無料

\*尚、12月20日(金)の例会は上記忘年家族例会へ変更させていただきます。

## SAA報告

- 木畑 清会員 白石様、卓話よろしくお願ひします。三上様、今日はありがとうございます。
- 國井 豊会員 すっかり、元気になりました。これからは、ロータリー出席にも頑張ります。
- 那須宗弘会員 塩谷さん、ようこそお越し下さいました。今日はゆっくりおくつろぎください。
- 山中喜八郎会員 本日アサヒグループホールディングス 白石様をお迎えして幸せです。鳥井駒吉さんのお話しいっぱい聞かせて下さい。
- 三上尚嘉会員 ご無沙汰しています。今日はよろしくお願ひします。
- 綿谷伸一会員 塩谷会長ようこそ堺北RCへ。バンコクから失礼します。本日は欠席です。
- 中田 学会員 塩谷さん遠くタイより、ようこそ堺北へ。
- 坂田兼則会員 三上さん、こんにちは。白石様、鳥井様、ようこそ。塩谷様お久しぶりです。

- 米澤邦明会員 次週例会は欠席させていただきます。
- 嶽盛和三会員 白石様、鳥井様、卓話ありがとうございます。楽しみにしております。
- 城岡会員・中川会員・畑中会員・塩見会員・藤永会員・池永会員 囲碁フェスタ欠席。この時期寺院法要が多く申し訳ありません。
- かき豊お釣。畑中さん社長復帰会。  
合計58,000円

## その他

### ゴルフ同好会

#### 「第97回北輪会のご案内」

代表世話人 塩見 守



この度「第97回北輪会」を下記のように企画開催させて頂く運びとなりました。

ご多忙の折りと存じますが、万障お繰り合わせの上是非ご参加賜りたくご案内申し上げます。

#### 記

日 時：令和元年12月14日(土)

場 所：天野山カントリークラブ  
(堺市南区別所1549-46)

☎072-284-1919

集 合：AM 7:40

お着替えを済ませて練習グリーンへ  
スタート：AM 8:00

北西/西北コース (8組予定)

会 費：おひとり様 6,000円  
(賞品および会食費)



皆出席表彰(11月度) 池田茂雄会員 (第37回)